



年頭にあたって



高山村長
後藤 幸三

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は公私ともにひとかたならぬご指導とご鞭撻を賜り、また、日頃より村政全般にわたりご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日から能登半島地震の発生、村では鳥インフルエンザの発生と波浪の幕開けとなった年でありました。今年こそ穏やかな1年となりますよう念願するところでございます。

世界に目を向けると、ロシアによるウクライナ侵攻はいまだ終息の気配を見せず、また、中東における武力衝突も一部では停戦合意がなされたものの、小休止に過ぎないとした見方もさされていくようございます。繰り返される愚行をニュース等で

目にするにつけ、1日も早い終息と恒久平和を願うばかりであります。

高山村では、昨年2月に有機農業への取組を推進するため「オーガニックビレッジ」を宣言いたしました。栽培技術の講習会や有機農産物のブランド化、学校給食での活用、農産物直売所での販売に加え販路の拡大にも努めてまいります。併せて、慣行農業の更なる推進にも力を入れ、単一作物の効率的・安定的な大量生産を図ることにより、村の主要産業である農業の活性化を図ってまいります。

また、高山村消防団においては、団結成以来初めてとなる女性団員が加入いたしました。FRS班として主に救護と予防消防に携わっていただくこととなりました。FRSとは「Fire Protection(防火)」「Relief(救護)」「Support(支援)」の頭文字を取ったものですが、村の防火・防災の新たな担い手として今後の活躍が期待されるところでございます。

昨年8月には「上州高山村ふるさと祭り」を開催することができました。令和2年度からは新型コロナウイルス感染症により、昨年度は台風のため開催が

かなわず、実に5年ぶりの開催となりました。8月14日から8月11日の山の日の祝日に開催日を変更しての開催となりましたが、大変大勢の方にお越しいただき好評価をいただきましたと思っております。本年以降も8月の山の日の開催を予定しておりますので、多くの方にご来場いただければ幸いです。

一方、課題となっている耐震性能の著しく低い役場庁舎の整備をはじめ、ふれあいプラザ、水道管や橋りょうなどのインフラ施設対策、バス路線などの公共交通対策、買い物弱者対策、耕作放棄地や獣害被害対策、観光振興対策、気候変動への取り組み等々、先送りできないその対策の歩を着実に進めていかなければなりません。

引き続き「笑顔で輝く高山村」に向け邁進してまいる所存でございます。将来を見据え、持続可能な形での施策を講じてまいりますので、村民皆様のなごみ層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が村民皆様にとって幸せに満ち、より充実した年となりますよう心よりご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。



新年のごあいさつ



高山村議会議長
山口 英司

新年あけましておめでとうございませう。

村民皆さまにおかれましては、令和7年の新春を健やかに迎え、心よりお慶び申し上げます。

日頃は議会活動につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は元日に、最大震度7の地震が能登半島を直撃し、多くの生命が奪われ、多くの人が傷つき、甚大な被害がもたらされました。

同日、村内においては、鳥インフルエンザが発生し、防疫処

理のため関係機関の皆さまに、正月返上でお世話になりました。めでたいはずの新年が、波乱の年明けとなってしまいました。

一方で、中止が続いていた「上州高山村ふるさと祭り」や、新しく「高山村軽スポーツラリー」が開催され、人手にあふれる賑わいを見せるなど、村民のための取り組みもありました。

また、米大リーグ「ドジャース」の大谷翔平選手による、史上初のシーズン50本塁打、50盗塁「50-50」達成とMVP受賞は、地震や台風などの自然災害が多発し、不安が広がった1年の中で、多くの人に希望と勇気を与えてくれました。

さて、日本が超高齢化社会を迎え、本村におきましても人口減少・少子高齢化、東京一極集中による過疎化などの深刻な問題を抱え、村の産業である農林業なども、担い手不足による衰退が懸念され、物価高騰による村民生活や、地域経済への影響も未だ深刻な状況が続いています。

厳しい財政状況の中ですが、

福祉、教育、子育て、防災・減災など、多くの課題の実現に、迅速・的確に取り組んでまいります。

加えて、役場庁舎整備は、施設の老朽化と耐震補強の観点より、その対応は喫緊の課題となっております。村民皆さまの声を聞きながら、これからの人口減少を見据え、必要最小限の庁舎整備を検討いたします。

結びに、活力ある高山村の実現に向け、議会一同全力で村政に取り組んでまいります。皆さまにとって、本年がより良い年になりますよう、ご多幸とご健勝を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。





年頭にあたって



高山村教育委員会 教育長
山口 廣

中学生海外派遣事業も本年度は規制もなく実施することができました。

中学校時代に海外派遣事業が中止になった現在の高校2年生もシンガポールへ派遣することができ、喜んでいるところです。

小・中学校では県教育委員会から研究指定を受けています。

小学校は「教科等授業改善プロジェクト」の指定を受け、研究成果を県内の先生方に公開しました。公開授業の様子は、動画撮影され県内の学校に公開しています。

中学校は「ぐんまこどもの体力向上推進事業」の指定を受け、県教育委員会より空手や柔道の講師を派遣してもらい、体育の授業の充実が図られました。

両校の指定とも教員の指導力の向上と児童生徒の学力向上が期待できる研究指定ですので、今後を期待しています。

村民運動会に代わって、本年度は、村民皆様が楽しめる「軽スポーツラリー」を実施したところ、参加者に大変好評でした。

来年度も実施する計画ですので、楽しみにしててください。

郡民スポーツ大会では、ゲートボールとバドミントンが優勝、グラウンドゴルフ、女子バレーボール、ボウリング、剣道が準優勝と素晴らしい活躍でした。教育委員会としては、今後も生涯スポーツの支援を充実させていきたいと思っています。

文化財関係では、皆様もご存じと思いますが、中山原遺跡の発掘で、高山村の歴史や生活様式を知ることのできる成果をあげています。また、貴重な出土品も発掘されています。今後は、これらの記録をきちんと残す取組をしていきます。

結びに、今年も皆様のご支援とご協力を賜りながら教育活動を充実させていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

本年が村民皆様にとって幸せに満ち、充実した年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさついたします。

新年あけましておめでとうございます。

村民皆様には、ご家族お揃いで令和7年の新春を健やかなおうちに迎えられることと心よりお慶び申し上げます。

旧年中はひとかたならぬご指導とご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症も落ち着き、学校教育、社会教育、芸術文化・スポーツ分野において、規模の縮小もありますが、コロナ前と同じように実施できるようにになりました。